

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
社会学	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	野邊 政雄
授 業 概 要					
<p>授業では、家族を例にしながら、社会学の視点や分析方法、社会学の基礎概念を説明する。現代の豊かな大衆消費社会は高度経済成長期（1955-1973年）に形成されたが、1990年代に入ってから日本の家族は大きく変化している。この授業では、高度経済成長期と比較すると1990年代以降日本の家族がどのように変化しているかを講義する。受講学生が生まれる以前の出来事も話すので、ドキュメンタリーを上映しながら、授業をおこなう。</p>					
到 達 目 標					
<p>・社会学の視点や分析方法を理解する。 ・日本の家族が1990年代以降どのように変化したかを理解する。 後者の具体的な到達目標は、次の2点である。 ①高度経済成長によってどのような家族が形成されたかを説明できる。 ②1990年代以降、日本の家族がどのように変化しているかを説明できる。</p>					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	イントロダクション、家族のいくつかの側面				野邊 政雄
2	高度経済成長				
3	グローバリゼーション				
4	バブル経済とその崩壊				
5	日本的経営				
6	非正規雇用の増加				
7	教育の不安定化				
8	格差社会（不平等化）				
9	セーフティネット・クライシス				
10	高齢化と少子化				
11	「家制度」				
12	結婚と出産				
13	未婚化				
14	家族の変化				
15	人間関係のゆくえ				
学 習 方 法					
<p>講義の要点をまとめた講義ノート配布する。それを読んで、復習をすること。その講義ノートに参考文献をあげておくので、テーマに興味があったら、そうした本を読んで学習を深めるとよい。</p>					
評 価 方 法					
試験（100％）					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔参考書〕 講義ノート配布する。講義に関連する文献は、講義ノートにあげておく。					